

# 平成30年1月 真鶴町教育委員会定例会要旨 会議録

期 間： 平成30年1月23日（火） 午後2時より

場 所： 真鶴町民センター 第2会議室

出席者： 牧岡努教育長、脇山亜子委員（教育長職務代理者）、  
草柳栄子委員、瀧本朝光委員、佐々木美穂委員、  
岩本幹彦教育課長、後藤由多加教育課副課長兼指導主事、  
大竹建治生涯学習係長、奥村裕学校教育指導員、  
小野真人学校教育係長  
書記：瀬戸太允主事、片山武丸主事補

欠席者： なし

傍聴者： なし

## 議事

### 1 開会

教育長より、開会あいさつ

### 2 教育長の報告

#### (1) 学校教育に係る部分について

- ・園・学校の様子に関する事
- ・児童生徒指導に関する事
- ・学校の安全に関する事
- ・その他

#### (2) 生涯学習に係る部分について

- ・スポーツ・文化事業に関する事
- ・青少年育成に関する事
- ・文化施設に関する事
- ・その他

### 3 協議事項

#### (1) 中学生海外派遣事業について

課 長 中学生海外派遣事業についてですが、継続協議とさせていただきます。  
次年度の方向性をある程度、事務局案としてまとめましたので、本日ここで提

案させていただきます。皆様のご意見をいただきたいと思います。担当係長の大竹から説明いたします。

係 長

資料1をご覧ください。先月定例会にて、従前の海外派遣事業については、国内の語学研修施設で行うというところまでお話が進んだかと思えます。この点をご確認させていただきたいと思えます。事業内容・目的の変更です。目的は大きく変えず、国際社会の一員として世界の人々と心を開いて交流できるよう、そして国際的視野を持った心豊かな人材の育成を目的に中学2年生をオーストラリアに派遣してきたが、テロの頻発といった社会情勢の変化等から近年は募集人員を下回る応募しかないこと、さらには事業の費用対効果といった面を鑑み、安全面を第一とし、より多くの生徒を参加させるために国内の語学研修施設で異国の文化・生活習慣に触れながら生きた英語を学び、当初の目的に見合った代替事業を実施することとします。これは先月定例会の中で確認させていただきました。新しく展開する事業の新たな目的案及び新事業名案を提示させていただきます。目的といたしましては、ほとんど変わっておりません。国際社会の一員として世界の人々と心を開いて交流できるよう、国際的視野を持った心豊かな人材を育成するというものでございます。以前の目的には「中学生を海外に派遣し」という文言がございました。この文言を外しただけで、他の文言は同様です。理由といたしましては、新規事業とするのではなく、事業名だけを変更するためでございます。新たな事業名は中学生グローバル人材育成事業と考えております。これらの目的を達成しうる近隣の国内語学研修施設としては、福島県のブリティッシュヒルズ、静岡県ランゲージビレッジ、群馬県高崎市のくらぶち英語村、こちらは平成30年度に開設する施設ということです。この3施設について、比較検討を行いました。モデル事業としましては国内研修施設で一般的なカリキュラムである、2泊3日で検討させていただいております。ブリティッシュヒルズは2泊の料金で28,200円。昼食が2回分として3,600円。研修費のAという部分は、2泊3日では六つのカリキュラムが組めるのですが、語学研修を中心に、単価3,700円で五つ計上しています。また、研修Bは食事や工作などアクティビティを中心としたカリキュラムで、単価4,200円で一つ組み入れる計算としています。そうしましたところ、生徒一人にかかる費用といたしましては、2泊3日でブリティッシュヒルズは54,500円になります。受入れは通年、四季を通じて行っています。引率者の宿泊費は生徒さんとは異なり、若干安めの35,600円ということでした。

続きましてランゲージビレッジです。これはブリティッシュヒルズよりも語学に重きを置いて、TOEICの点数でいうと中学生で560点以上をめざすようなカリキュラムとなっているようです。2泊3日で昼食を含めた料金で、一人当たり61,560円で、引率含めてこの額がかかるということでした。ただ、ランゲージビレッジでは夏季シーズンは受け入れしていないということでした。静岡県富士市に位置しており、基本的には夏は避暑地として、観光客で混みあうので夏季の受け入れはしていないということです。通常の受け入れは夏季以外のシーズン週末のみとのことでした。

続きまして、来年度開設しますくらぶち英語村です。こちらは高崎市が運営主体となっているようです。語学研修施設ですが、1泊2日単位で受け入れしており、一人当たり10,000円です。2泊だと20,000円とのこと。これは随行者含めてとのこと。対象は小学1年生から中学3年生で、自然体験や農業体験等のアクティビティに重きを置いています。まだ開設していませんので詳細は不明です。なお、団体の受け入れをしておらず、個人での申込みの受け入れのみで考えているとのことでした。

これらの三つの検討施設を比較し、教育委員会事務局としての実施案を提示させていただきます。ここでご意見等あればいただきまして、ご協議をさせていただきたいと思っております。実施時期は従前の海外派遣事業と同様に、部活動との関係もありますので、部活動の活動が一時なくなる夏季休業期間中に行いたいと考えています。国内語学研修施設の一般的なプログラムとして展開されている2泊3日の事業として、夏季休業期間中に実施していこうではないかと考えています。そういたしますと、三つのうち夏季の受け入れをしていないランゲージビレッジは外れてしまいます。ブリティッシュヒルズあるいはくらぶち英語村ということで、実施時期、期間ということで絞らせていただきました。また、団体としての受け入れの可否については、町として予算立てして実施するため、町単位や学校単位で受け入れてもらう必要があるということがあります。そうすると個人申込みしか受け付けていただけないくらぶち英語村では、難しいかなという部分で、ブリティッシュヒルズのみが残ります。以上の検討結果からブリティッシュヒルズが最適と考えられるとまとめさせていただきました。続いて対象学年・定員等につきましては、語学研修施設でのカリキュラムがその子の習熟度や学年で異なってくるため、一学年を対象とした事業として実施するのが良いのではないかと考えました。対象学年はある程度英語の習熟度が見込め、従前の海外派遣事業の対象としておりましたので、その代替事業という部分を鑑み、中学2年生とすればいいのではないかと考えました。また、予算の上限があることから、定員を15名程度に設定してはどうかと考えました。応募条件・参加者選定等につきましては、広く門戸を開放し、多くの生徒に参加していただきたいと考えておりますので、応募者を限定する条件、特に英検何級ですとかそういった条件は設けず、応募者に対して作文・面接を課して参加者を選考していきたいと考えております。また、受益者負担といたしまして、本事業に参加するにあたり、研修事業に付随する費用として食費代等は参加者に負担していただこうと考えています。以上です。

教 育 長                    提案の順番に質問・意見等をまとめながら進めていきたいと思います。まず、事業内容・目的の変更について、ご質問等ある方はお願いします。

委                    員                    確認ですが、以前にお話しした中の事業の費用対効果という面で、今までは効果が少ないという結論になったのでしょうか。

係                    長                    結論までは至っていないという認識でおります。しかし、定員を4名で募集

しており、その4名という人数に200万円という予算をかけるのであれば、同じ予算をより多くの生徒に還元していくという考えから事業内容を変更していくといった事であったと認識しています。

委員 毎年海外派遣をして、冊子なども作成していることは、その時点で参加している子ども達には効果があるということを経験してきたと思います。それを否定する内容を入れてしまうのはどうなのかなという部分が気になりまして、質問したのですが。その上の段のテロや募集人員が下回るなど、子ども達の思いが離れているという捉えのほうがいいと思いました。

教育長 費用対効果という言葉で表さない方がいいということですね。

委員 それを前面に出さない方がいいと思います。

課長 それについては私も同様の考え方でして、やはり保護者や今後の参加するかもしれない子ども達を考え、現状というところで、教育委員会としては安全性の確保を全面に出すべきだと思います。ある一定の効果は今までも挙げてきているわけですし、子ども達の中ではこれを機に旅行会社に就いていたりなど、転機にはなっていると思います。ただどうしても、人数的な面でも評価としては表す必要があると考えまして、皆さんの前では示しましたが、安全性の確保を教育委員会は第一に考えているということをアピールしていこうと考えています。

教育長 更には事業の費用対効果を鑑みという部分は、必ずしもそうではないという意見がありました。課長の方からも、意見がありましたので、この部分は削るということではよろしいですか。

全委員 (全員了承)

教育長 それでは今述べた理由で、この部分は文言を削ってください。

係長 分かりました。

教育長 目的と事業名についてご意見をお願いします。

委員 先ほどから外国語活動が入ってくるという話が出ていることを考えると目的とっていることを考えると、今後の発展の中で小学生を含める可能性が出てくるのであれば、事業名から中学生を削除してもいいかと思います。また、中学生グローバル人材育成事業となると、中学生のグローバル人材を育成する事業という感じになるんですね。その辺の流れも考えていくと、中学生という言葉も削除しても、町としてのグローバルな人材を育成していく事業とすれば、

変化した時にも対応できるかなという感じがしました。中学生を海外に派遣という所を削除しているので、中学生だけ置くのはどうなのかなと思いました。以上です。

教 育 長 事務局はいかがでしょうか。中学生を削除、グローバル人材育成プロジェクトとするという意見です。

課 長 皆様の方で、今後大学生や小学生などを含めた展開がありえるとご賛同いただければ問題ないかと思います。中学生海外派遣事業の代替事業として考えておきまして、位置付けとして中学生を対象としていたのでこの冠を冠していただけですので、広く見ればグローバル人材育成事業といっても過言ではないので、こだわりはないです。

委 員 グローバルはいい言葉という印象ですか。私はあまりいい印象を受けないのですが、国際的人材育成等の方がいいのではないですか。

課 長 日本語表記にするということですか。

委 員 長く続く事業だとすれば、グローバルではなく日本語の方がいいような気がします。

教 育 長 グローバルというそもそもの意味はどういう意味合いできたのでしょうか。

係 長 意識すると外に大きく開くという意味合いです。

教 育 長 外に開くとか、世界に向かってというようなことですね。

課 長 直訳すると地球全体とか世界的なという意味ですので、世界に通用するような人材育成を図るということでは、直訳的には問題ないかと思います。音の響きや、今言われたように比喻表現に使われているのであれば別名称でも、その点はいいと思います。

教 育 長 別名称だとどのようなものになりますか。

委 員 世界に羽ばたく人材育成事業だとか、わざわざグローバルを使わなくてもいいかなと思います。

課 長 ストレートではあるかなと思います。この名称については、お時間をいただきたいと思います。

教 育 長 新事業名は事務局で案を作成するというところでよろしいでしょうか。

委員 はい。

教育長 それでは、目的については記載されているような目的ということによろしいでしょうか。最終的に採決はしますが、ご質問がなければ次に進みます。新事業名について、グローバルという言葉を使うかどうかについては、再度検討するという事によろしいでしょうか。

全委員 (全員了承)

教育長 それでは資料1番の協議を終わります。続く2番は情報のみですので、質問があればお願いします。

委員 ブリティッシュヒルズのカリキュラムについて、研修Aが5コマ、研修Bが1コマという組み方をされていて、研修Aはどんな内容ですか。

係長 講師1名ないし2名に対して、生徒が5名から6名のグループで90分のカリキュラムで、英会話が中心のカリキュラムになるそうです。ただ、研修Aを五つ組み入れるか、研修Bのアクティビティを二つ三つ組み入れるかについては、料金の部分で調整がありますが、そこは自由だと確認をしています。

教育長 5対1でも4対2でも、料金の範囲内で調整できるということです。他にご質問はいかがですか。

委員 くらぶち英語村は少人数のみということですが、その捉え方については、14名を少人数と捉えてくれるものなのか、町が主体となると、1人や2人でもだめなのかという点はいかがですか。

係長 その部分は確認が取れていない状況です。開設していない状況なので、先方もどの様な形で受け入れをするかについて、少人数という所ではまだ固まっていないということでした。情報が取れ次第、皆様にも情報提供していこうと考えています。

委員 ランゲージビレッジについて、静岡県ということで凄く近いですね。ランゲージビレッジは、夏休みはだめでも普段の土日なら2泊3日という形もよければ、3連休でも大丈夫ということでしょうか。

係長 ブリティッシュヒルズについては、現状資料は手元にありませんが会津若松の近くだと確認をしています。ランゲージビレッジは週末の2泊3日、あるいは4泊5日でも入村は可能ということは確認が取れています。

- 委員 近さや距離、諸々を考えるとランゲージビレッジも考慮の中に残していいのかなと思います。ただ、中学2年生が夏休みに本当に部活がなくて参加できるのかというのが分かりませんが、そういう時期ですとお盆の時期に当たるのではないのでしょうか。そうすると車も込みますし、向こうもいっぱいなのではないかと思います。
- 係長 中学校に確認をしたところ、平成30年度は8月2日からお盆にかけて部活休止ということでした。8月2日と3日は前後するところはあると思いますが、その前後から10日間または2週間前後で検討することになると考えています。
- 委員 あちらの混み具合は大丈夫ですか。
- 係長 お盆にかかりますので、下り方面の12日などは混むと思います。
- 委員 ブリティッシュヒルズがいっぱい参加できないということはないですか。
- 係長 現状、8月3日から5日、12日から14日、13日から15日は空いていると確認が取れています。
- 教育長 それを基に検討結果について、確認していきます。実施時期期間について、夏季休業期間中に2泊3日と提案されていますが、これについてご意見等ございましたらお願いします。
- 委員 夏季休業期間というのは学校からも同じように要望されていますか。
- 係長 確認が取れていません。
- 委員 今年の9月以降は4回3連休があります。そういったところの方がいいと学校から要望があるとランゲージビレッジも検討に入ると思います。
- 教育長 9月の部活動はどうですかね。
- 学校教育指導員 新人戦の時期ですね。
- 教育長 通常なら土日のどちらかが部活動ということですね。
- 学校教育指導員 9月には小田原市内で学校対抗駅伝もあります。
- 教育長 他にご質問等ございますか。実施時期や期間、夏季休養期間中の2泊3日ということですが。

委員 私はできれば夏季休業期間中の8月前半でお盆にかからないくらいがいいと思います。3連休や土日ですと部活動やテスト期間もありますし、町の事業も秋にはいろいろあるので、今までどおり8月上旬がいいと思います。

委員 私もそうと思いますが、そうするとブリティッシュヒルズしかないとなります。場所が限定されてしまうかなという所があるのですが、ランゲージビレッジはTOEICの点数が560点と言っていましたが、それを目標に講義をするということなのか、560点を取れる実力がないとだめなのか伺いたいです。

係長 中学生は目標だと思います。

委員 部活が今問題になっています。いろいろ言われていますが、部活を休んでもいいからこちらを優先すると、学校から指導してもらうことはできないのでしょうか。子どもは部活を休むことに抵抗があります。そうすると勿体ないチャンス逃すことになると思うので、学校でも配慮してもらうようなことはできないでしょうか。

課長 その部分につきましては、元中学校長の学校教育指導員にもアドバイスいただき、下郡の大会がすべて終わる日程の中で確保したということで案を検討してこちらに出しています。距離や夏季休業中に行うということを前提とした中で、施設を絞り、中でこの3施設が浮かび、なおかつ今の条件を合わせるとブリティッシュヒルズしかなくなります。自ずからこれしかないという案となりました。

課長 南足柄でも実施していて、実績もあるということも踏まえ、ここしかないかなと考えました。

教育長 夏季休業中に2泊3日で受け入れ可能となるとブリティッシュヒルズとなります。ここを前提としてよろしいですか。

全委員 (全員了承)

教育長 それではこの前提の基に、対象学年・定員等を確定していきたいと思いますが、中学2年生の定員15名程度としている部分についてはいかがですか。

委員 私は賛成です。

教育長 15名の理由というのはどのようなものでしょうか。

課長 中学生海外派遣研修事業の代替事業として予算を作成しましたので、上限が200万円ということを見ると、15名が最大人数です。

教 育 長            上限でとっているということですね。

委        員            引率は何人で想定されていますか。

係        長            町のバスを使用すれば運転手2名と、同行者が2名の4名です。バスをチャーターすれば同行者2名となります。この辺は料金の条件で動きがあるかと思っています。

委        員            500キロ以上なので2人はバス運転手が必要ですね。

教 育 長            諸々の諸条件がありますが、中学2年生を対象に定員15名ということでしょうか。

全 委 員            (全員了承)

教 育 長            それでは応募条件・参加者選考等について、案としては、応募者を限定する条件は設けず、応募者に対して作文・面接を課して参加者を選考するということが、いかがでしょうか。

委        員            いいと思うのですが、研修AとBの割合について、広く門戸を開放しというよりも、子どもたちが参加しやすいということと、2泊3日で7時間の英会話を行うことによって、本当に国際的な視野を持った子どもを育てられるのかということ考えた時に、広く門戸を開放しということが、どちらかというとも今まで英語が苦手だった子に、英語をしゃべりながら料理を作ったり何かを作ったりアクティビティ体験をすることにより、言葉でつながる体験をするといった部分がおそらく将来的に国際的な視野を育むので、日本語だけじゃなくて、他の言葉でこうやってできるぞという体験を積むことができる機会にさせていただくということ考えた時に、やはり子どもたちが参加するかを決める際には、何を行うのかという方が重要だと思います。こちらから作文や面接で選考しますよというよりも、子ども達に選んでもらえるような内容を決めていくことがまずは前提なのかなと思います。それがあっての応募条件や参加資格だと思います。

教 育 長            こういうものでいいけれども、その前の段階のプログラム作りでということですね。

委        員            あんまりにも魅力的で応募者が大勢で、選考が必要になるのも心苦しいですね。

委        員            現状を考えると応募者が多いくらいじゃないと、今後どんどん減っていくと

思います。もし語学だけで行うのであればですが。

課 長 来年度はまだ中学2年生は2クラスですが、その次には1クラスになります。対象者自体が減りますので、魅力ある事業を提供するという部分の問題はあります。今回変更したものをを行うので、どういった事業になるかはよく説明しなくてはいけないと、参加するかしないかという選択すらできないこととなりますので、その部分はデリケートなので上手く提示していきたいと思います。

教 育 長 魅力ある事業を提示するというを大事にしていきたいということでした。それでは、応募条件・参加者選考等についてはよろしいですか。

全 委 員 (全員了承)

教 育 長 それでは受益者負担についてはいかがでしょうか。

課 長 事務局案ということで大まかに作成しましたが、生涯学習の事業ですので、最低限の自己負担はしていただきたいと思っております。これを最低限度よりも多くいただければ、参加者を多くすることは可能です。今の段階では、自己負担を食事代などの実費のみお支払いいただくということで計算し、15名を上限としています。もっと多くいただければより多くの子どもたちを連れていけるということで、より多くの人に参加していただきたいということならば変更を検討するというで提示させていただきました。

教 育 長 今の説明のとおりということではよろしいでしょうか。

全 委 員 (全員了承)

教 育 長 それでは最後確認をする前に今の段階で変更が必要だと思う部分があれば伺います。

委 員 今まで、ここ近年からかもしれませんが、海外派遣に参加した子どもは町の事業にボランティアとして貢献してもらっていたと思います。先ほども半島駅伝でスタッフが足りないといったこともありますので、何かの形で貢献していただきたいと思います。

係 長 現状の事業でも、中学3年生の1年間、また高校3年間の計4年間、町事業に対して協力していただくということを明記しております。そういった部分は新しい事業にも引き継いでいきたいと考えております。町への貢献事業については、参加者に義務づけていきたいと思っております。

教 育 長 今までの検討内容を基に最終的な計画をさらに練ってもらうということによ

ろしいでしょうか。今までの検討を一括してお認めいただける方は挙手をお願いいたします。

全 委 員 (全員挙手)

教 育 長 全員賛成です。最後に今後の予定の概略をお願いします。

係 長 2月また3月定例会までに募集要項を提示させていただきます。その際には、ご承認をいただきたいと考えています。また、現在の海外派遣研修事業の推進協議会がございますのでこちらの解体、新たな協議会を立ち上げる作業も出てこようかなと思います。その新しい推進協議会を4月に開催し、そこでまた募集要項を細かい部分まで詰めて、4月中あるいは5月の連休明けくらいに募集要項を中学校に配布して、参加者を募集してまいりたいと考えています。

課 長 海外へ行きませんので、パスポートを取得する期間等を考慮しません。いつもよりも応募について余裕を持って考えられると思います。

教 育 長 それでは協議事項を終わります。

報告事項 資料に基づき中学校の昼食に係る保護者負担軽減策について及び施設の月別利用状況、事業計画等を説明

教 育 長 ご質問等ないようですので、以上をもちまして1月定例会を終了させていただきます。ありがとうございました。

次回定例会 平成30年2月26日(月)

協議会 13:30～

真鶴町民センター2階 第1会議室

定例会 14:00～

真鶴町民センター2階 第2会議室